

故人を偲び 真心こめて

初盆・精霊迎えのご案内

初盆祭壇のご案内

初盆はご逝去されてから四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆のことです。
当社では、大切な方をお迎えする初盆祭壇設営のお手伝いをさせていただきます。



お盆祭壇（二段） **33,000円**
(お膳+盛物台+牛馬+花立+線香立て含む)
H39.5cm W60cm D51.5cm

お盆用提灯 一基 **22,000円**
H82cm 火袋径33cm

お盆用生花 一基 **22,000円**

通常販売価格77,000円のところ

セット価格 71,500円

(上記金額は消費税込みの価格です)



お盆祭壇（一段） **22,000円**
(お膳+盛物台+牛馬+LED灯明付き)
H24cm W60cm D36cm

お盆用生花 一基 **22,000円**

通常販売価格44,000円のところ

セット価格 41,250円

(上記金額は消費税込みの価格です)

◎ 祭壇・提灯・生花のみのご注文もお受けいたします。



22,000円(税込)
(H80cm W60cm D40cm)



16,500円(税込)
(H70cm W50cm D30cm)



11,000円(税込)
(H55cm W40cm D30cm)

上記生花の表示価格から10%割引させていただきます。(配送料無料)
(セット価格の生花は、この割引との併用はできません。)
(ご葬儀を終えられたご家族さま宅よりの申し込みを対象といたします。)

※宗派により祭壇の飾り方は異なります。また真宗においてはお盆用として特別な祭壇は用意しませんがご希望の方は菩提寺へご相談の上、当社へご用命ください。
※初盆だけでなく、毎年のお盆にご使用いただけます。
※写真額、位牌、供物はついておりません。
※ご使用後、各ご家庭でご処分いただける花器を使用しております。
※写真はイメージです。

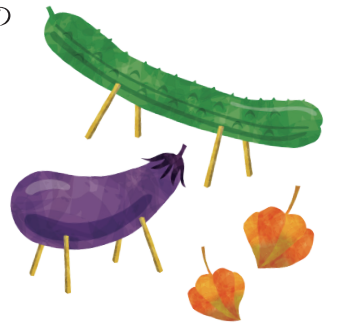
初盆祭壇の飾り方

初盆では、仏壇とは別に祭壇を準備して、遺影写真や位牌、灯籠、供物、お花などを飾り付けます。本来は床の間などに盆棚を飾りますが、スペースの問題から仏壇の前に飾ることもあります。宗旨や地域により飾り方やお供え物は様々ですので、菩提寺へ事前に確認されることをお勧めいたします。

牛、馬……ナスやキュウリで牛や馬を作ってお飾りすることは、ご先祖の霊がその牛や馬の背に乗って来られるよう準備したものだと言われています。それで、お盆の前には牛や馬を内へ向けておき、お盆の終わった十六日には家の外に向けておくことになっています。

百味五果の供物……「百味」とは、色々な種類の美味しいものという意味で、「五果」とは、瓜、茄子、麺、鰻、餅の五種類のことです。新鮮な野菜、果物や、団子、ぼた餅、素麺などをお供えします。

水の子……お盆に帰ってくるご先祖さまと同じように、餓鬼道に落ちた無縁仏のお供えとして用意します。お椀に水を張り、蓮の葉の上に、生米と茄子、胡瓜をサイの目に切り入れます。



お盆のスケジュール

京都では、8月7日頃から、東山区の六道珍皇寺や、上京区の引接寺(千本ゑんま堂)など各地のお寺で精霊をお迎えする行事やお勤めが行われます。お寺の門前にも盆市がたち、お盆に必要な道具や花などを売っています。

8月13日 盆の入り(精霊迎え)
お位牌を仏壇から祭壇へ移し、お膳やお供え物もこの日からおこないます。

8月14日～15日 盆中日
お膳やお供え物は、出来るだけ毎日新しいものに交換します。

8月16日 盆明け(精霊送り)
ご先祖様の精霊が極楽浄土にお帰りになる日です。京都市内では午後8時より点火される東山如意ヶ嶽の大文字を皮切りに、「妙・法」「船形」「左大文字」「鳥居形」が順次点火され、それぞれ約30分間、京都の夜空を焦がします。



ご注文の流れ

同封の「初盆祭壇申込書」に下記内容をご記入下さい。

- ①告別式の月日 ②施主名(フルネーム) ③宗旨 ④施主ご住所
⑤ご連絡先 ⑥お届け希望日 ⑦希望する品名と個数

※必ずご連絡がとれる電話番号をご記入下さい。



返信用封筒にて当社までご返送下さい。

※お代金につきましては、お届け時に申し受けます。



申込書到着後、当社より確認のご連絡をさせて頂き
注文確定となります。

※お届け日時につきましては若干の猶予をお願いする場合があります。

お問い合わせ



〒604-8161 京都市中京区烏丸通六角上る饅頭屋町608番地
(烏丸六角上ル東側)

年中無休／24時間営業

 **0120-004-200**

<http://www.koekisha-kyoto.com>